

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1471902583
法人名	有限会社 彩雅舎
事業所名	グループホーム観音崎
訪問調査日	平成20年11月18日
評価確定日	平成20年12月27日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

#### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	1471902583
法人名	有限会社 彩雅舎
事業所名	グループホーム 観音崎
所在地	239-0811 横須賀市走水1-6-3 (電話) 046-841-7354

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成20年11月18日	評価確定日	平成20年12月27日

## 【情報提供票より】(平成20年11月 3日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17年3月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	24 人	常勤	19 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 18 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	6階建て	2階	4階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	69,000 円	その他の経費(月額)	37,800 円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 600,000 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	420 円
	夕食	580 円	おやつ	100 円
	または1日当たり	1400 円		

### (4) 利用者の概要(11月 3日現在)

利用者人数	27 名	男性	6 名	女性	21 名
要介護1	5 名	要介護2	8 名		
要介護3	7 名	要介護4	3 名		
要介護5	4 名	要支援2			
年齢	平均 78 歳	最低	67 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	湘寿クリニック
---------	---------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは奥様が施設長、管理者はご子息と云う典型的な家族的ホームである。海岸砂浜を基礎に鉄筋5階建てで、1Fが海岸下道路への出入り口、2, 3, 4Fが各9人の3ユニット、5Fが国道への出入り口となっている。各リビングルームは、180度オーシャンビューで、夕日に映える富士山は素晴らしい眺めである。この景色が、利用者的心を癒し、穏やかに落ち着いてお過ごしいただけるようである。入居者にADLの差が出始めているので、フロア別に同じ程度の人を移して集める試みを始めている。2, 3, 4Fが同じ間取りであることを利用し、混雑が無いように、ご家族の同意も得て同じ位置の部屋への移動を心がけている。同程度の人と過ごすことで例えば嫌がっていたトイレ介助を受け入れるなど良い面も出ている。現在では4Fは自立度が高く、認知症も軽度で、2Fは重度の方、3Fは中間と同程度の人が集まる体制が整っていて快適に過ぎて頂いている。介護計画はセンター方式をベースに神奈川県推奨の介護計画書を活用している。アセスメントに重点を置き、カンファレンスを中心として全員でのアセスメントを実施している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>① 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>今年度の改善目標は業務日誌の記載内容の改善に取り組んだ。個人別の記録はケース記録に詳細に記載しているが、全部を読まないで全体像が掴めない点の改善として業務日誌1ページの中に日勤、遅番、夜勤各々が個人別に1日の様子をサマリーして記載することにした。狙いは①職員が要領良く纏めが出来ること②職員は入居者に対し観察が深く、目を向けるようになること③管理者が一目で全体を把握出来ることである。これの継続実施によりケアの質の向上が出来た。</p>
	<p>② 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>3ユニット完全開所、定員27名の入居が達成出来た状況で、各ユニットが自立してケア出来る体制が必要であり、管理体制は管理者を頂点として各ユニットにフロア一長を置き、ユニットの自立を進めている。今回の自己評価はその体制に沿い、各フロア一長がユニット毎に作成した。フロア一長は職員の意向を聞き、ミーティングを開き作成した。施設長、管理者はそれをチェック提出した。</p>
重点項目	<p>③ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>今年度、運営推進会議は天津地区ブロックで行う横須賀方式が年2回、事業所別の事業所方式で年4回のペースで実施している。ブロック会議には横須賀市及び地域包括支援センターが出席しているが、事業所会議には参加していない。事業所会議は横須賀市から推薦された民生委員(此処の地域の民生委員ではない)の参加を得て、家族代表、施設長、管理者、ケアマネジャーで構成している。自治会とは良好な関係を保っているが、現状、運営推進会議への参加を要請していない。横須賀市と相談し加入の有無を検討してみたいと考えている。</p>
	<p>④ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ご家族は協力的で良く来てくれている。家族会を作り、各フロアから1名づつ代表を決めてもらい3人で会長、副会長、書記になって頂いた。この体制は非常に有効で、先の夏祭りでは主役が家族会となって運営してくれ、職員は事前の食材の仕込み、夏祭り当日は介護に専念出来る体制を実現出来た。夏祭りには地域の方もお招きし、金券を配り楽しんで頂いた。運営推進会議からも民生委員が模擬店等を担当してくれた。</p>
重点項目	<p>⑤ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>学校関係では福祉体験学習で天津中、武山中の生徒を受け入れている。また、湘南学園の福祉クラブの高校生の生徒さんが月1回来てくれて調理をしてくれたり、一緒に折り紙をしたりしてくれている。ホームのごみ処理に関し、自治会長さんがゴミ収集の便宜を図って頂き感謝している。ボランティアではキーボード持込で歌の方が来て下さるなど協力頂いている。施設長の教え子の関係でフラダンスの方が来てくれている。前回は沖縄民謡によるフラダンスを披露してくれて、入居者は喜んでた。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ユニット内に理念を表示して常に目にして意識を持てるようにしている。日々の行実の中で理念に反しないよう直接の話し合いを行っている。		定期的に話し合いの場が持てるようにしていきたい
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を理解した上で 毎日の介護にあたっている。		今後も継続して実施していく
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	今年はフォーラムの参加を茜の入居者全員で参加した。地域の中学校の生徒の福祉活動に協力し、生徒の訪問を受け入れている。		今後も、小・中・高と学校の受け入れは続けていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各ユニットが自立してケア出来る体制が必要であり、管理体制は管理者を頂点として各ユニットにフロアー長を置き、ユニットの自立を進めている。今回の自己評価はその体制に沿い、各フロアー長がユニット毎に作成した。外部評価結果はいつでも見られるように開示し、改善点など話し合いの場を設けている。		今後も継続して実施していく
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所会議は横須賀市から推薦された民生委員(此処の地域の民生委員ではない)の参加を得て、家族代表、施設長、管理者、ケアマネジャーで構成している。ブロックで行う横須賀方式では各事業所での取り組みの実際を報告し合って、より良いサービス提供の参考にしている。		今後も継続して実施していく

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地区毎に民生委員の方々が、施設訪問に来られたり、ボランティアとして行事に参加して下さったりしている。		今後も継続して実施していく
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時に情報を提供したり 面会の少ない家族には電話にて近況の報告を行っている。フロアの壁を利用して 歯掲示板を作り 面会時にいつでも見られるようにしている。通信だよりなどを季刊で発行してみたいと思っている。	○	今後も継続して実施していく
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が面会に来た際は 出来るだけ多くの話をして 話しやすい信頼関係がつかれるように 努力している。また意見を聞いたら管理者などに報告し 改善に向けて話し合いを設けるようしている。		今後も継続して実施していく
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職者を最小限にとどめる努力をしている。常に顔なじみの職員が1名は勤務に入れるようにしている。		今後も継続して実施していく
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップの応援はしてくれている。		今後も継続して実施していく
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流する機会は運営推進会議のブロックで行う横須賀方式での取り組みに留まっている。		今後も継続して努力していく

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、本人が、早く馴染めるよう、何度か来ていただいたりして、同じ利用者さんの輪の中に入れるよう見守り支援を工夫している。		今後も継続して実施していく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	レクリエーション等 ゆっくりと一緒に考えたり工夫したりする活動できる時間を出来るだけ長く設けている。		今後も継続して実施していく
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの生きてきた生活状況を聞きだしたりする中でご本人の望んでいることの意向を把握するよう努めている。センター方式をベースに神奈川県推奨の介護計画書を活用し、アセスメントに重点を置き、カンファレンスを中心として全員でのアセスメントを実施している。		今後も継続して実施していく
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族やご本人の要望をよく聞いたうえで内容に沿ったケアプランが作成できるようスタッフも課題分析を行っていく。		今後も継続して実施していく
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3～6ヶ月で見直しをしている。変化があった場合や介護度に変化あった場合はその都度見直しをしている。		今後も継続して実施していく

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	身体状況の変化など必要が生じたらフロアーや居室変更など入居者本位の立場で家族の理解を得ながら実施している。		今後も継続して実施していく
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医が毎週1回の往診を行っている。また急変時などは電話やメールで相談している。		今後も継続して実施していく
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族の希望で、ターミナルまで、当ホームを希望される場合は、ご家族と医師とフロア長が同席し、今後の方針等話し合っている。		今後も継続して実施していく
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人記録は 鍵のかかるロッカーに保管してある。言葉かけは慎重に、尊厳を損なわないような言葉かけをしている。		今後も継続して実施していく
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活の中で、食事時間は決まった時間だが、それ以外はお本人の希望を尊重したペースで過ごしていただいている。		今後も継続して実施していく

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえ・盛り付け・配膳・お茶入れ・片付け・食器洗いなど、個々にやれることで、役割を持ちながら食事が楽しいひと時になるよう役割分担等をしている。		今後も継続して実施していく
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴が好きなフロアなので、毎日実施している。入浴時間は、朝風呂の好きな方とか、その人のペースで実施している。ただ、皆が1番風呂が好きなので、なるべく公平になるよう、1番風呂は順番を決めている。		今後も継続して実施していく
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自分らしさを保ち、持続できるよう、生活歴や趣味、好きな事を引き出し、発揮しながら楽しめるような支援を心がけている。		今後も継続して実施していく
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気の良い日は散歩に出るように支援している。個人の体力に合わせ、距離は調整している。又、ご家族がそれぞれ、外出に連れ出していただいている。		今後も継続して実施していく
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	個室の鍵は利用者の意思にて行っている。 茜の玄関は、鍵をかけていない。	○	危険のない限り施錠をしないケアに取り組んでいきたい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時はエレベーター使用が出来ないので避難誘導の方法として散歩のときなどを利用して階段使用を心がけている。災害時は不在の職員も動員できるようにしている。		今後も継続して実施していく

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取状況は日々記録を行い、人目で分かるように工夫している。またその日の状態により 食べやすいよう形態を工夫している。水分は摂りやすいよう常置したり、種類・味の工夫や摂取量のチェックもしている。		今後も継続して実施していく
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	くつろぎ易い空間であるよう、家具の配置や植物・壁面のレイアウト等を工夫したり、音・灯り・陽光調整も入居者と共にまめに行っている。		今後も継続して実施していく
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時は出来るだけ自宅で使用していた家具を配置していただいている。入居後は、必要に応じてご家族と相談し、より良い生活環境が得られるよう支援している		今後も継続して実施していく



# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的に客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 観音崎
(ユニット名)	茜(あかね)
所在地 (県・市町村名)	横須賀市走水1-6-3
記入者名 (管理者)	山本 トヨ子
記入日	平成 20 年 10 月 30 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ユニット内に理念を表示して常に目にして意識を持てるようにしている。日々の行実の中で理念に反しないよう直接の話し合いを行っている		定期的に話し合いの場が持てるようにしていきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を理解した上で 毎日の介護にあたっている。		今後も継続して実施していく
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	町内の行事に参加したりして、できるだけ交流が深まるよう努力している。		今後も継続して実施していく
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出た際など 近隣の方とお話ができる機会をつくっている。又 野点の会や夏祭りなど地域の人々が立ち寄りやすい行事を行っている。	○	地域交流を深めていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	今年はフォーラムの参加を茜の入居者全員で参加しました。 地域の中学校の生徒の福祉活動に協力し、生徒の訪問を受け入れている。	○	今後も、小・中・高と学校の受け入れは続けていきたい。
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)

6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	野点等を行い、地域の方々との交流を図り地域に貢献することがないか話し合っている。	○	地域交流を深めていきたい。
---	--	--	---	---------------

### 3. 理念を実践するための制度の理解と活用

7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価結果はいつでも見られるように開示し、改善点など話し合いの場を設けている。		今後も継続して実施していく
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	各事業所での取り組みの実際を報告し合って、より良いサービス提供の参考にしている。		今後も継続して実施していく
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地区毎に民生委員の方々が、施設訪問に来られたり、ボランティアとして行事に参加して下さったりしている。		今後も継続して実施していく
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている利用者はいないが学ぶ機会は持ちたい。	○	研修が出来るよう 努力したい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	普段の何気ない言葉使いや態度が虐待にならないように職員同士が声を掛け合っている。現在は茜は虐待はありませんがもしあったとしても入居者さまからの訴えがあると思います。茜は入居者様同士、職員と入居者様がよい関係が築けている。		今後も継続して実施していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	---------------------------------	------	----------------------------------

### 4. 理念を実践するための体制

12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際、利用者の家族に、施設長と往診の先生とケアマネージャーがそれぞれ十分な説明を行い、不安や疑問点にお答えしている。入居後は、利用者の家族が直接先生に質問できるようにしている。	○	三者の立場からの説明は、今後も継続していく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設長やケアマネージャーが言いやすい環境作りを工夫して、利用者本人、家族からの不満や苦情を、聞き出している。		今後も継続して実施していく
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に情報を提供したり 面会の少ない家族には 電話にて近況の報告を行っている。フロアの壁を利用して 茜掲示板を作り 面会時にいつでも見られるようにしている。	○	通信だよりなどを季刊で発行してみたいと思っている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が面会に来た際は 出来るだけ多くの話をし て 話しやすい信頼関係がつかれるように 努力している。また 意見を聞いたら管理者などに報告し改善に向けて話し合いを設けるようしている。		今後も継続して実施していく
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア長会議を開いているので、その折、運営者に提案をしている。		今後も継続して実施していく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務の調整は柔軟にその都度必要に応じて行われています。		今後も継続して実施していく
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職者を最小限にとどめる努力はしている。常に顔なじみの職員が1名は勤務に入れるようにしている。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
	○職員を育てる取り組み			

19	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップの応援はしてくれている。		今後も継続して実施していく
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	人員不足により、同業者との交流する機会はあまりもてない。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	人員不足による 精神的ストレスは否めない。が職員が協力し合い 助け合える環境を整えている。	○	今後も継続して実施していく
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各自が働きやすく、お互いの役割を思い合って、相互のできることで応援し合う環境作りをしている。		今後も継続して実施していく

## II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人が直接話しやすいような関係や雰囲気作りに努めている実際に話すときはよく聞いて受け入れることを心掛付けそれから対策や改善に言及するよう努めている。		今後も継続して実施していく
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時にも 多くの会話を持つように 努力している。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	受けた相談などは 施設長及び管理者に報告し改善や支援にむけた対応が出来るように 話し合いを行うように努めている。		今後も継続して実施していく

26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、本人が、早く馴染めるよう、何度か来ていただいたりして、同じ利用者さんの輪の中に入るよう見守り支援を工夫している。		今後も継続して実施していく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	レクリエーション等 ゆっくりと一緒に考えたり工夫したりする活動できる時間を出来るだけ長く設けている。		今後も継続して実施していく
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時などは職員も一緒に話をする時間を設け共に談笑しながら お手伝いいただけることをお願いしたりすることもあり和やかに支える関係を築いている。		今後も継続して実施していく
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族との接点が多く持てるよう来訪、外出、外泊などを出来るだけ機会を多く持っていただけるよう入居者の気持ちを代弁したりして伝えている。		今後も継続して実施していく
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの関係が途切れないよう思い出話を聞いたり来訪、手紙のやり取り、電話の取次ぎなどさまざまな手段を活用している。		今後も継続して実施していく
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事のお席や お手伝いなどを通し 多くの関わりが持てるように配慮している。また他フロアへ出向いたり 遊びに来ていただいたりホーム全体で関わりが持てるように努力している。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	お亡くなりになってのサービス終了の利用者のご家族には 命日などにお便りを差し上げている。また 近況報告をいただいたりしている。		今後も継続して実施していく

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

#### 1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの生きてきた生活状況を聞きだしたりする中でご本人の望んでいることの意向を把握するよう努めている。		今後も継続して実施していく
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来るだけご入居の前にご家族やご友人などのお話も聞き 情報収集している。		今後も継続して実施していく
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルチェックや 朝の会話から 身体状況を把握して 1日の生活状況を見守っている。睡眠不足の方には お昼寝を進めたりしている。		今後も継続して実施していく

#### 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族やご本人の要望をよく聞いたうえで内容に沿ったケアプランが作成できるようスタッフも課題分析を行っていく		今後も継続して実施していく
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3～6ヶ月で見直しをしている。変化があった場合や介護度に変化あった場合はその都度見直しをしている。		今後も継続して実施していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録でスタッフの情報共有を図り、アセスメントケアプラン見直しにつなげている。		今後も継続して実施していく

3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	身体状況の変化など必要が生じたらフローアや居室変更など入居者本位の立場で家族の理解を得ながら実施している。	今後も継続して実施していく
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	家族会や行事等にボランティアさん・民生委員の方々の協力や、体験学習(中学生)など受け入れている。	今後も継続して実施していく
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護用品など 必要になったときは アドバイスなどの支援を行っている。	今後も継続して実施していく
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	情報提供をし合い協働してケアを継続していきたい希望はあるが、現実はなかなか難しく思う。	今後も継続して実施していく
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医が毎週1回の往診を行っている。また急変時などは電話やメールで相談している。	今後も継続して実施していく
項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(○印) 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医が認知症の専門なので その都度指示をいただき 良い状態が保てるように支援している。	今後も継続して実施していく
	○看護職との協働		



45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携体制をとっているので、毎週1回 決まった看護師が訪問看護にきている。		今後も継続して実施していく
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	事業所として、病院の地域医療連携室に連絡を入れさせていただいたりする外、主治医から直接担当医師に連携をとっていただき、良好な関係の入院を実現している。		今後も継続して実施していく
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族の希望で、ターミナルまで、当ホームを希望される場合は、ご家族と医師とフロア長が同席し、今後の方針等話し合っている。		今後も継続して実施していく
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師・ご家族・スタッフで連携をとりターミナルケアが行える説明を行っている。		今後も継続して実施していく
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供をし、本人があまり動揺しないように注意して、言葉かけを行っている。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底			

50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人記録は 鍵のかかるロッカーに保管してある。言葉かけは慎重に、尊厳を損なわないような言葉かけをしている。		今後も継続して実施していく
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人の思いや望んでいることを汲み取り、出来るだけ自己決定が出来るよう支援している。		今後も継続して実施していく
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活の中で、食事時間は決まった時間だが、それ以外のご本人の希望を尊重したペースで過ごしていただいている。		今後も継続して実施していく
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご自分でその日の洋服を選んで着ていただいている。理美容は訪問美容を利用している方もいるが、ご本人の要望で、行きつけの美容院を利用されている方もいる。		今後も継続して実施していく
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえ・盛り付け・配膳・お茶入れ・片付け・食器洗いなど、個々にやれることで、役割を持ちながら食事が楽しいひと時になるよう役割分担等をしている。		今後も継続して実施していく
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物・おやつは日常の中で、提供されているが、ご家族が持参されることもあるので、健康等支障のない限り嗜好を大切にしながら、サポートしている。		今後も継続して実施していく
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	おむつ使用の方はいないが、たまに少々失禁されたりした時はご自分で洗われ、室内に干されるので、プライドを傷つけないよう「乾燥させます」とさりげなくお預かりし洗いなおしている。		今後も継続して実施していく
	○入浴を楽しむことができる支援	入浴が好きなフロアなので、毎日実施している。人		

57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	浴時間は、朝風呂の好きな方とか、その人のペースで実施している。ただ、皆が1番風呂が好きなので、なるべく公平になるよう、1番風呂は順番を決めている。		今後も継続して実施していく
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	消灯時間を決めず それぞれの就寝時間を大切にしている。		今後も継続して実施していく
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自分らしさを保ち、持続できるよう、生活歴や趣味、好きな事を引き出し、発揮しながら楽しめるような支援を心がけている。		今後も継続して実施していく
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	歩いていける範囲でのお買い物はできないので、毎日のお買い物を観音崎商店(ホーム内)に出向き ホーム内銀行券で お買いものを行い、金銭管理の実践をしている。又、トラブルが発生しない位の少額の現金を所持されている方もあります		今後も継続して実施していく
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気の良い日は散歩に出るように支援している。個人の体力に合わせ、距離は調整している。又、ご家族がそれぞれ、外出に連れ出していただいている。		今後も継続して実施していく
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	イベントや、季節ごとの行事として、実施している。ご家族に参加の呼びかけをして、一緒にできることも取り入れている。		今後も継続して実施していく
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙のやり取りをしている方もあるので、散歩の時に出したたりなど手紙を出すお手伝いをしている。電話はかかってきたときの取次ぎをしている。		今後も継続して実施していく
	○家族や馴染みの人の訪問支援			

64	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪の制限はないので、訪問者とは楽しく過ごされています。		今後も継続して実施していく
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	茜では拘束は行っていないが、もし、拘束を考えなければならない場合は、拘束の必要性和本人の危険度を第一に考えます。	○	拘束しないケアに取り組んでいきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	個室の鍵は利用者の意思にて行っている。茜の玄関は、鍵をかけていません。	○	危険のない限り施錠をしないケアに取り組んでいきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	さりげない安全確認は常時行っている。居室へはノックし、声掛けの了解のもと入室している。	○	プライバシーを保つための、安全確認は今後も継続していく。個々のADLや、健康上の変化を見逃さない。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	できるだけ、当たり前の暮らし方を重視しているので、危険を回避していく生活の知恵も忘れないような範囲で安全を保つ工夫を心がけている。	○	行動を出来るだけ制限しないでの安全対策をしていきたい
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	幸い、茜では、大きな事故が起きていないので、安全な生活を維持できるよう注意を向け、入居者ともよく確認し合っている。火災・誤嚥・転倒がないよう今後も取り組んでいく。	○	今後も継続して実施していく
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急対応マニュアルが設置されている。定期的訓練はあまりできていない。	○	応急手当や緊急時の初期対応訓練をもっと充実させたい。
	○災害対策	災害時はエレベーター使用が出来ないので避難		

71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災時は一階、地震時はエレベーターを避ける避難誘導の方法として散歩のときなどを利用して階段使用を心がけている。災害時は不在の職員も動員できるようにしている。		今後も継続して実施していく
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	問題が発生した時には 主治医も含め十分な話し合いを家族とも行っている。		今後も継続して実施していく
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝のバイタルチェックや 申し送りにより特に体調不良者には注意し異変時には速やかに医師への報告を行い指示を仰いでいる。又、ご自身で訴えしやすい関係づくりや雰囲気づくりを心がけている。		今後も継続して実施していく
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬説明書はいつでも閲覧できるようにして 変更がある場合は口頭・申し送りノートで確認し 把握に努めている。		今後も継続して実施していく
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一人ひとりの排便リズムを把握するため 確認、記録をし 食物や水分によって自然排便が行えるように支援している。確認しにくい方は、訪看の時、お腹の聴診をしてもらい、浣腸をしていただくこともある。水分補給・便秘対策の食事工夫している。		今後も継続して実施していく
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きを行っている。忘れやすい方は声掛けしている。夜間の義歯管理もしているが、ご自身で管理されている方もいる。		今後も継続して実施していく
<b>項 目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取状況は日々記録を行い、人目で分かるように工夫している。またその日の状態により 食べやすいよう形態を工夫している。水分は摂りやすいよう常置したり、種類・味の工夫や摂取量のチェックもしている。		今後も継続して実施していく
	○感染症予防			

78	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルはいつでもの閲覧できる。実例がないので、書面での知識収集を心がけている。インフルエンザの予防接種も行っている。		今後も継続して実施していく
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗いを遂行し 清潔を心がけ調理器具の消毒を実施。食材は消費期限を厳守し、提供している。		今後も継続して実施していく
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周辺は、植え込みがあったり、イスの設置があり、中は花がいつも飾られていて、テーブルコーナーのある良い空間だと感じている。		今後も継続して実施していく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	くつろぎ易い空間であるよう、家具の配置や植物・壁面のレイアウト等を工夫したり、音・灯り・陽光調整も入居者と共にまめに行っている。		今後も継続して実施していく
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置や 椅子の配置などに配慮している。それぞれが、自由に好きなように過ごされ、又窓からの絶景を眺めるなど、自由な過ごし方をされている。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時は出来るだけ自宅で使用していた家具を配置していただいている。入居後は、必要に応じてご家族と相談し、より良い生活環境が得られるよう支援している		今後も継続して実施していく
	○換気・空調の配慮			

84	<p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>換気はよく行っている。エアコン使用時も、窓の開閉は実施している。入居者からも要望が出るので、換気・温度調節はよく行う。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>危ない場所には手すりを配置してあったり、各フロアの移動はエレベーター使用ができ、バリアフリーになっている。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>お手洗い表示など分かりやすくし できることは自分でしていただけるように支援している。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物が高層で、ベランダは危険な為、使用していないが 5Fの駐車場へは 鉢物の植え替えのお手伝いをしていただいたりして楽しんでいただいている。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>

## V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

茜は、一人ひとりの役割をお互いに認め合って、とても和やかに、お過ごしいただいている。このまま、皆様の不満があまり出ないように、笑顔の見られる毎日していきたいと思っている。

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的にかつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明


評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 観音崎
(ユニット名)	推(みやび)
所在地 (県・市町村名)	横須賀市走水1-6-3
記入者名 (管理者)	山田 和江
記入日	平成 20 年 10 月 30 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設長が独自の理念をかかげ、地域との連携を図っている。地域は、古い伝統のある土地がらなので、その伝統を尊重し、節度あるお付き合いをしているので、非常に良く協力をしていただいている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を理解した上で 毎日の介護にあたっている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	町内の行事に参加したりして、できるだけ交流が深まるよう努力している。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出た際など 近隣の方とお話ができる機会をつくっている。又 野点の会や夏祭りなど地域の人々が立ち寄りやすい行事を行っている。夏祭りは、ご近所にも金券を配り、食べ物を購入していただき、珍しいと喜ばれた。	○ 地域交流を深めていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の中学校の生徒の福祉活動に協力し、生徒の訪問を受け入れている。	○ 今後も、小・中・高と学校の受け入れは続けていきたい。
項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)

6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	野点等を行い、地域の方々との交流を図って話し合っている。	○	地域交流を深めていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価結果はいつでも見られるように開示し、改善点など話し合いの場を設けている。		今後も継続して実施していく
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	各事業所での取り組みの実際を報告し合って、より良いサービス提供の参考にしている。		今後も継続して実施していく
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地区毎に民生委員の方々が、施設訪問に来られたり、ボランティアとして行事に参加して下さったりしている。		今後も継続して実施していく
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在は成年後見制度を利用されている方はいないが、研修会で学ぶ機会を持ちたいと思っている。	○	研修会に参加し、学んでみたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	普段の何気ない言葉使いや態度が虐待にならないように職員同士が声を掛け合っている。	○	今後も継続して実施していく
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				

12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際、利用者の家族に、施設長と往診の先生とケアマネージャーがそれぞれ十分な説明を行い、不安や疑問点にお答えしている。入居後は、利用者の家族が直接先生に質問できるようにしている。	○	三者の立場からの説明は、今後も継続していく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設長やケアマネージャーが言いやすい環境作りを工夫して、利用者本人からの不満や苦情を、聞き出している。		今後も継続して実施していく
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に情報の提供したり 面会の少ない家族には 電話にて近況の報告を行っている。状態に変化のみられる場合は、その都度報告している。		今後も継続して実施していく
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が面会に来た際は 出来るだけ多くの話をし て 話しやすい信頼関係がつかれるように 努力している。また 意見を聞いたら管理者などに報告し改善に向けて話し合いを設けるようしている。		今後も継続して実施していく
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア長会議の折、運営者に提案をしている。		今後も継続して実施していく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務の調整は柔軟にその都度必要に応じて行われている。		今後も継続して実施していく
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者への配慮を最優先に、なじみの関係が、1日も早く築けるよう努力している。	職員の定着をよりよくする努力をし、離職者を出さないよう改善努力している。代わる場合は、利用者への配慮を最優先に、なじみの関係が、1日も早く築けるよう努力している。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
	○職員を育てる取り組み			

19	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップの応援はしてくれている。	○	パートの方の教育指導を段階的にできるよう、プログラム改善中である。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	人員不足により、同業者との交流する機会はあまりもてない。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	人員不足による 精神的ストレスは否めない。が職員が協力し合い 助け合える環境を整えている。		今後も継続して実施していく
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各自が働きやすく、お互いの役割を思い合って、相互のできることで応援し合う環境作りをしている。		今後も継続して実施していく

## II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	出来るだけ多くの会話を持ち 気持ちを受け止めるように心がけている。		今後も継続して実施していく
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時に、ご家族と話す機会を持つようにし、相談を受けるようにしている。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	受けた相談などは 施設長及び管理者に報告し改善や支援にむけた対応が出来るように 話あいを行うように努めている。		今後も継続して実施していく

26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	各フロアを見学していただき、入居者とお話していただいたりして、希望のお部屋を決め、入居後は、利用者さんの輪の中に早く入れるよう会話の中だちをしたりして支援を工夫している。		今後も継続して実施していく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ゆっくりと一緒に活動できる時間を設けて、入居者の持てる力を引き出す工夫をしている。また、洗濯干し・たたみ、調理のお手伝いなどして頂き、関係を良くする工夫をしている。		今後も継続して実施していく
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時などは職員も一緒に話をする時間を設け共に談笑したりしている。		今後も継続して実施していく
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族との接点が多く持てるよう来訪、外出、外泊などを出来るだけ機会を多く持っていただけるよう入居者の気持ちを代弁したりして伝えている。		今後も継続して実施していく
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や隣人の面会も積極的に受け入れている。		今後も継続して実施していく
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事のお席や お手伝いなどを通し 多くの関わりが持てるように配慮している。入居者の中で、ハーモニカを吹かれる方がいるので、一緒に楽しませていただいている。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	雅では、他の施設に移動された方はいますが、相手の施設の方々もいらっしゃるので、相談があれば、援助したいと思っている。		今後も継続して実施していく

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

#### 1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや意思を尊重し 日々の介護に努めている。		今後も継続して実施していく
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や こ友人などのお話も聞き 情報収集し、その人らしい生活を守る(尊厳)。		今後も継続して実施していく
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルチェックや 朝の会話から 身体状況を把握して 1日の生活状況を見守っている。体調不良のサインを見逃さないように、注意している。		今後も継続して実施していく

#### 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の面談での要望や本人の希望等を取り入れ ケアプランの作成をしている。		今後も継続して実施していく
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3～6ヶ月で見直しをしている。変化のあった場合はその都度見直しをしている。		今後も継続して実施していく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録でスタッフの情報共有を図り、介護実践を行っている。		今後も継続して実施していく



3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の身体変化によって、フロアのチェンジ等家族の了解により、行っている。又、ご家族からの希望で、車いす脱着機能の車の貸出等もしている。	今後も継続して実施していく
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアさん・民生委員の方々の協力や 福祉体験学習(3校の中学生35人ほど)など 受け入れている。	今後も継続して実施していく
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護用品など 必要になったときは アドバイスなどの支援を行っている。	今後も継続して実施していく
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	協働してケアを継続していきたい希望はあるが、現実はなかなか難しく思う。	
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制があり、主治医が毎週1回の往診を行っている。又、急変時などは電話や写メールで相談して指示を仰いでいる。	今後も継続して実施していく
項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(○印) 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医が専門なので その都度指示をいただき良い状態が保てるように支援している。	今後も継続して実施していく
	○看護職との協働		

45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携体制をとっているため、毎週1回 決まった看護師が訪問看護にきている。		今後も継続して実施していく
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	事業所として、病院の地域医療連携室に連絡を入れさせていただいたりする外、主治医から直接担当医師に連携をとっていただき、良好な関係の入院を実現している。		今後も継続して実施していく
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族の希望で、ターミナルまで、当ホームを希望される場合は、ご家族と医師とフロア長が同席し、今後の方針等話し合っている。		今後も継続して実施していく
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師・ご家族・スタッフで連携をとり、行っている。現在3名が、終末期の入り口にさしかかれ、1名が、特養への移動希望であるが、なかなか、移動できないでお過ごしである。		今後も継続して実施していく
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供をし、本人があまり動揺しないように注意して、言葉かけを行っている。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底			

50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人記録は 鍵のかかるロッカーに保管してある。言葉かけは慎重に、尊厳を損なわないような言葉かけをしている。		今後も継続して実施していく
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	十分にお話を聞く。質問には、必ず説明をし 納得していただくようにしている。		今後も継続して実施していく
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間や入浴時間は安全を確保できる時間内に その人のペースで実施している。		今後も継続して実施していく
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご自分でその日の洋服を選んでいただいている。決定できない方には アドバイスをしながら一緒に選ぶようにしている。理美容は訪問理美容を利用している。		今後も継続して実施していく
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえ程度の手伝いはしていただける。職員は調理をしながら献立について 利用者との会話をしながらおこなっている。配膳等はできる方にお手伝いをしていただいている。		今後も継続して実施していく
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒やタバコを吸う方はいない。おやつは、提供されているが、ご家族からの持ち込みは、健康に支障がない方でも、本人に渡されてしまうと、一度に全部食べてしまわれることがあるので、持ち込みはお預かりして、おやつ時にお出ししている。		今後も継続して実施していく
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の一番難しいフロアである。個人個人の排泄パターンを把握し オムツ交換やカテーテルの対応・トイレ誘導の声かけを実施しているが、ご自分の排泄物を戸棚にしまわれてしまう方もいるので、プライドを損なわないよう片づけさせていただくの	○	個人の尊厳を大切にした支援の継続を実施。
	○入浴を楽しむことができる支援			

57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	朝のバイタルチェックで入浴実施かどうか判断し、個々のペースにあわせ入浴していただいている。		今後も継続して実施していく
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	消灯時間を決めず それぞれの就寝時間を大切にしている。		今後も継続して実施していく
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌が好きな方が多いので 時にハーモニカを吹いていただいたり、カラオケ大会などを開催し 気晴らし支援をしている。		今後も継続して実施していく
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	実際に外出できる機会が少ないので 毎日のお買い物をお音崎商店(ホーム内)に出向き ホーム内銀行券で お買いものを行い、金銭管理の実践をしている。		今後も継続して実施していく
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気の良い日は個々の散歩の支援をし、散歩の困難な方は外気浴が出来るように支援している。		今後も継続して実施していく
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	介護度の重い方が多く 頻繁には無理だが 季節や身体状況を考慮し 遠足等を企画している。(お花見や秋の遠足など)また個別に希望が出た場合は 家族に連絡している。		今後も継続して実施していく
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お便りを差し上げたりされる方はいるので、お出しする支援をしている。入居の時、携帯電話をお持ちの方もいらしたが、頻繁にご家族にお電話をされてしまう為、ご家族がお持ち帰りになってしまった。いつでもかけられる状態というのは、なかなか難しいと思われる。		今後も継続して実施していく
	○家族や馴染みの人の訪問支援			

64	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問の際は個室や 百景ルームを利用してゆっくりお話ができるようにしている。		今後も継続して実施していく
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	こまめに様子を見て、身体拘束をしないケアをできるだけしないようなケアをしている。		今後も継続して実施していく
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	個室の鍵は利用者の意思にて行っている。フロアの玄関の鍵はかけていない。		今後も継続して実施していく
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	姿が見えない時は、訪室をさせていただいている。		今後も継続して実施していく
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	工作时、カッターではなく、鋏の使用に代えていただいたり、危険な品を使用する時は、目を離さないよう、注意している。		今後も継続して実施していく
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	誤嚥・転倒がないような努力をし、刻み食等工夫し、取り組んでいる。		今後も継続して実施していく
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時はすぐに、施設長・ケアマネージャーに連絡、往診に来て下さる医師の指示を受け、対応している。		今後も継続して実施していく
	○災害対策	車いすの方や寝たきりの方が増えてきた今、災害		

71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	時は、絶対にご近所の協力をお願いしなければならない。自分達の力だけでは到底間に合わないと思えるので友好関係を築くのが大切。が、まずは、不在の職員も動員できるようにしている。		今後も継続して実施していく
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	問題が発生した時には 主治医も含め十分な話し合いを家族とも行っている。		今後も継続して実施していく
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝のバイタルチェックや 申し送りにより特に体調不良者には注意し異変時には速やかに医師への報告を行い指示を仰いでいる。		今後も継続して実施していく
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬説明書はいつでも閲覧できるようにして 変更がある場合は口頭・申し送りノートで確認し 把握に努めている。		今後も継続して実施していく
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一人ひとりの排便リズムを把握するため 記録をとっている。 食物や水分によって自然排便が行えるように支援している。		今後も継続して実施していく
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のブラッシングを行っている。必要に応じて歯科医の受診も受けられるようにしている。		今後も継続して実施していく
<b>項 目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	糖尿の方もいられるので、カロリー計算された食事の工夫や摂取状況は日々記録を行い、ひと目で分かるようにしている。またその日の状態により 刻み食などに形態も変えている。インシュリンを打っていた方が、インシュリンを打たなくて良くなってきている。		今後も継続して実施していく
	○感染症予防			

78	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルはいつでも閲覧でき また情報収集に努めている。インフルエンザの予防接種も行っている。		今後も継続して実施していく
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗いを遂行し 清潔を心がけ 食材は多くを保存しないようにしている。		今後も継続して実施していく
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	お花や インテリアの工夫をして 明るく見えるようにしている。		今後も継続して実施していく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お花や作品を飾って 殺風景にならないようにしている。		今後も継続して実施していく
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置や 椅子の配置などに配慮している。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ自宅で使用していた家具を配置していただいている。		今後も継続して実施していく
	○換気・空調の配慮			

84	<p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>利用者自身が出来ない時は 職員が声かけをしながら行っている。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>フロアはバリアフリーになっていて、危ない場所には手すりを配置したり、浴室のリフトなど 身体機能に応じて使用できるようになっている。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>手作り表札や お手洗い表示など分かりやすくしできることは自分でしていただけるように支援している。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ベランダ周りは危険な為使用していないが 5Fの広場へは 園芸などをしに行っている。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>



## V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

介護度の重度化により、レクリエーションや余暇の時間が少なくなっているが、出来る時間を出来るだけ確保し、皆ができるものを工夫している。寝たきりになってきている方は、じょくそうができないよう体位交換等こまめに対応している。

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かして下さい。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的に客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 観音崎
(ユニット名)	汀(なぎさ)
所在地 (県・市町村名)	横須賀市走水1-6-3
記入者名 (管理者)	廣瀬 桂子
記入日	平成 20 年 10 月 28 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設長が独自の理念をかかげ、地域との連携を図っている。地域は、古い伝統のある土地がらなので、その伝統を尊重し、節度あるお付き合いをしているので、非常に良く協力をしていただいている。		今後も継続して実施していく
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を理解した上で 毎日の介護にあたっている。		今後も継続して実施していく
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	町内の行事に参加したりして、できるだけ交流が深まるよう努力している。		今後も継続して実施していく
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出た際など 近隣の方とお話ができる機会をつくっている。又 野点の会や夏祭りなど地域の人々が立ち寄りやすい行事を行っている。	○	地域交流を深めていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の中学校の生徒の福祉活動に協力し、生徒の訪問を受け入れている。	○	今後も、小・中・高と学校の受け入れは続けていきたい。
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)

6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	野点等を行い、地域の方々との交流を図って話し合っている。	○	地域交流を深めていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価結果はいつでも見られるように開示し、改善点など話し合いの場を設けている。		今後も継続して実施していく
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	各事業所での取り組みの実際を報告し合って、より良いサービス提供の参考にしている。		今後も継続して実施していく
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地区毎に民生委員の方々が、施設訪問に来られたり、ボランティアとして行事に参加して下さったりしている。		今後も継続して実施していく
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている利用者がいる。	○	研修が出来るよう 努力したい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	普段の何気ない言葉使いや態度が虐待にならないように職員同士が声を掛け合っている。またテレビなどで報じられる事件等自分たちはどうか？という事を話し合ったりしている。		今後も継続して実施していく
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				

12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際、利用者の家族に、施設長と往診の先生とケアマネージャーがそれぞれ十分な説明を行い、不安や疑問点にお答えしている。入居後は、利用者の家族が直接先生に質問できるようにしている。	○	三者の立場からの説明は、今後も継続していく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設長やケアマネージャーが言いやすい環境作りを工夫して、利用者本人からの不満や苦情を、聞き出している。		今後も継続して実施していく
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に情報を提供したり 面会の少ない家族には 電話にて近況の報告を行っている。フロアの壁を利用して 汀掲示板を作り 面会時にいつでも見られるようにしている。	○	通信だよりなどを季刊で発行してみたいと思っている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が面会に来た際は 出来るだけ多くの話をし て 話しやすい信頼関係がつかれるように 努力している。また 意見を聞いたら管理者などに報告し改善に向けて話し合いを設けるようしている。		今後も継続して実施していく
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア長会議を開いているので、その折、運営者に提案をしている。		今後も継続して実施していく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務の調整は柔軟にその都度必要に応じて行われています。		今後も継続して実施していく
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	勤続1年以上の職員でケアを行っている。常に顔なじみの職員が1名は勤務に入れるようにしている。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
	○職員を育てる取り組み			

19	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップの応援はしてくれている。		今後も継続して実施していく
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	人員不足により、同業者との交流する機会はあまりもてない。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	人員不足による 精神的ストレスは否めない。が職員が協力し合い 助け合える環境を整えている。		今後も継続して実施していく
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各自が働きやすく、お互いの役割を思い合って、相互のできることで応援し合う環境作りをしている。		今後も継続して実施していく

## II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	出来るだけ多くの会話を持ち 気持ちを受け止めるように心がけている。		今後も継続して実施していく
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時にも 多くの会話を持つように 努力している。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	受けた相談などは 施設長及び管理者に報告し改善や支援にむけた対応が出来るように 話あいを行うように努めている。		今後も継続して実施していく

26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が、早く馴染めるよう、同じ利用者さんの輪の中に入れるよう見守り支援を工夫している。		今後も継続して実施していく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	忙しい中でも ゆっくりと一緒に活動できる時間を設けている。		今後も継続して実施していく
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時などは職員も一緒に話をする時間を設け共に談笑しながら お手伝いいただけることをお願いしたりしている。		今後も継続して実施していく
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	何か問題が起きそうなときには 相談にのったりしている。		今後も継続して実施していく
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や隣人の面会も積極的に受け入れ 外出で自宅近くを通った際は 話題を共有している。		今後も継続して実施していく
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事のお席や お手伝いなどを通し 多くの関わりが持てるように配慮している。また他フロアへ出向いたり 遊びに来ていただいたりホーム全体で関わりが持てるように努力している。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	お亡くなりになってのサービス終了の利用者のご家族には 命日などにお便りを差し上げている。また 近況報告をいただいたりしている。		今後も継続して実施していく



### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

#### 1. 一人ひとりの把握

33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや意思を尊重し 日々の介護に努めている。		今後も継続して実施していく
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や こ友人などのお話も聞き 情報収集している。		今後も継続して実施していく
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルチェックや 朝の会話から 身体状況を把握して 1日の生活状況を見守っている。 睡眠不足の方には お昼寝を進めたりしている。		今後も継続して実施していく

#### 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	作成している。		今後も継続して実施していく
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3～6ヶ月で見直しをしている。 認定調査などで介護度に変化あった場合はその都度見直しをしている。		今後も継続して実施していく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録でスタッフの情報共有を図り、介護実践を行っている。		今後も継続して実施していく

3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の申し出により、車いす脱着機能の車の貸出等している。	今後も継続して実施していく
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアさん・民生委員の方々の協力や体験学習(中学生)など受け入れている。	今後も継続して実施していく
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護用品など必要になったときはアドバイスなどの支援を行っている。	今後も継続して実施していく
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	協働してケアを継続していきたい希望はあるが、現実はなかなか難しく思う。	今後も継続して実施していく
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医が毎週1回の往診を行っている。また急変時などは電話やメールで相談している。	今後も継続して実施していく
項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(○印) 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医が専門なので その都度指示をいただき良い状態が保てるように支援している。	今後も継続して実施していく
	○看護職との協働		

45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携体制をとっているため、毎週1回 決まった看護師が訪問看護にきている。		今後も継続して実施していく
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	事業所として、病院の地域医療連携室に連絡を入れさせていただいたりする外、主治医から直接担当医師に連携をとっていただき、良好な関係の入院を実現している。		今後も継続して実施していく
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族の希望で、ターミナルまで、当ホームを希望される場合は、ご家族と医師とフロア長が同席し、今後の方針等話し合っている。		今後も継続して実施していく
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師・ご家族・スタッフで連携をとり、行っている。現在2名のターミナル的ケアを行っている。		今後も継続して実施していく
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供をし、本人があまり動揺しないように注意して、言葉かけを行っている。		今後も継続して実施していく
項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底			

50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人記録は 鍵のかかるロッカーに保管してある。言葉かけは慎重に、尊厳を損なわないような言葉かけをしている。		今後も継続して実施していく
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	十分にお話を聞く。必ず説明をし 納得していただくようにしている。また 3時のお茶など出来るだけ「どっちがいい？」と言うように 自分で考え選べるように支援している。		今後も継続して実施していく
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間や入浴時間は安全を確保できる時間内に その人のペースで実施している。(特に朝は早起きさん・お寝坊さんの2パターンの時間がある)		今後も継続して実施していく
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご自分でその日の洋服を選んでいただいている。決定できない方には アドバイスをしながら一緒に選ぶようにしている。理美容は訪問理美容を利用している。		今後も継続して実施していく
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえ程度の手伝いはしていただける。職員は調理をしながら献立について 利用者と会話をしながらおこなっている。一人ひとりの状況に合わせて 調理・味付けを調節している。		今後も継続して実施していく
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の好きなおやつなどは 家族に協力して持参していただいている。また食べたいものはリクエストするときもある。		今後も継続して実施していく
<b>項 目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個人個人の排泄パターンを把握し オムツ交換やトイレ誘導の声かけを実施している。		今後も継続して実施していく
	○入浴を楽しむことができる支援	安全を確保できる時間内に 個々のペースにあわ		

57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	更衣と睡眠できる時間帯に、個別にシャワーをせ入浴していただいている。(好きな人は毎日・嫌いな人困難な人も 週2回以上の入浴を心がけている。)		今後も継続して実施していく
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	消灯時間を決めず それぞれの就寝時間を大切にしているが、夜眠れない利用者には 主治医と相談して 休息が取れるように睡眠薬を使用する場合もある。		今後も継続して実施していく
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌が好きな方が多いので 時に 大カラオケ大会などを開催し 気晴らし支援をしている。		今後も継続して実施していく
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	実際に外出できる機会が少ないので 毎日のお買い物をお音崎商店(ホーム内)に出向き ホーム内銀行券で お買い物を行い、金銭管理の実践をしている。		今後も継続して実施していく
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気の良い日は外気浴が出来るように支援している。		今後も継続して実施していく
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	介護度の重い方が多く 頻繁には無理だが 季節や身体状況を考慮し 遠足等を企画している。(お花見や秋の遠足など)また個別に希望が出た場合は 家族に連絡している。		今後も継続して実施していく
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者からと言うのはあまりないが 来たお便りを読んで差し上げたりはしている。		今後も継続して実施していく
	○家族や馴染みの人の訪問支援			

64	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問の際は個室や 百景ルームを利用してゆっくりお話が出来るようにしている。		今後も継続して実施していく
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	極力努力しているが 身体安全を確保するため書面にて説明同意をいただき 最低限の拘束を行う場合がある。(ベッドからの転落防止・皮膚炎保護の為のツナギ服など)		今後も継続して実施していく
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	個室の鍵は利用者の意思にて行っている。現在徘徊しすぐに出て行かれてしまう方がいる為 安全のために 施錠する時間帯もある。		今後も継続して実施していく
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	定期的にラウンドし点呼している。		今後も継続して実施していく
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物品を使用する時は、目を離さないよう、注意している。		今後も継続して実施していく
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	誤嚥・転倒がないような努力をし、刻み食等工夫し、取り組んでいる。		今後も継続して実施していく
<b>項目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	実施している。また 参考書面などいつでも閲覧できるようにしている。		今後も継続して実施していく
	○災害対策			

71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	心がけている。まずは不在の職員も動員できるようにしている。		今後も継続して実施していく
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	問題が発生した時には 主治医も含め十分な話し合いを家族とも行っている。		今後も継続して実施していく
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝のバイタルチェックや 申し送りにより特に体調不良者には注意し異変時には速やかに医師への報告を行い指示を仰いでいる。		今後も継続して実施していく
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬説明書はいつでも閲覧できるようにして 変更がある場合は口頭・申し送りノートで確認し 把握に努めている。		今後も継続して実施していく
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一人ひとりの排便リズムを把握するため 記録をし食物や水分によって自然排便が行えるように支援している。 どうしてもでないときには医師の指示の上 内服薬をしようしている。		今後も継続して実施していく
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のブラッシングを行っている。必要に応じて歯科医の受診も受けられるようにしている。		今後も継続して実施していく
<b>項 目</b>		<b>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</b>	<b>(○印)</b>	<b>取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)</b>
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取状況は日々記録を行い、ひと目で分かるように工夫している。またその日の状態により 刻み・ミキサーなど形態も変えている。		今後も継続して実施していく
	○感染症予防			

78	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルはいつでもの閲覧でき また情報収集に努めている。インフルエンザの予防接種も行っている。		今後も継続して実施していく
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗いを遂行し 清潔を心がけ 食材は毎日購入されるので、残らないようにしている。		今後も継続して実施していく
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	お花や 植物を置き、お掃除はこまめに行い 明るく見えるようにしている。		今後も継続して実施していく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お花や作品を飾って 殺風景にならないように工夫し、ご家族に写真等みていただいている。		今後も継続して実施していく
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置や 椅子の配置など危険防止に配慮している。		今後も継続して実施していく
項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ自宅で使用していた家具を持ち込んでいただき、その方に合ったお部屋作りをしていただいている。		今後も継続して実施していく
	○換気・空調の配慮			



84	<p>気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>居室は窓・網戸・換気扇・エアコン等設置しており、温度調節、換気はこまめに行っている。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>危ない場所には手すりを配置したり 入浴用のリフトなど 機能に応じて使用できるようになっている。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>手作り表札や お手洗い表示など分かりやすくしできることは自分でしていただけるように支援している。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物が高層で、ベランダは危険な為、使用していないが 5Fの駐車場へは 鉢物の植え替えのお手伝いをしていただいたりして楽しんでいただいている。</p>		<p>今後も継続して実施していく</p>

## V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

介護度の重度化により 他のフロアより レクリエーションや余暇の時間が少なくなってしまった分、個々にゆっくりと寄り添う介護をしている。 時にお風呂で一緒に歌を歌ったり ゆっくり出来る時間を出来るだけ確保できるように工夫している。